

中村元記念館

Nakamura Hajime
Memorial Hall
नाकामुरा हाजीमे स्मारक मनागुरु

東方学院松江校 中村元記念館文化講座

受講の手引き



中村元先生とガンガー（ボトナ）一行きゆきて流氷ながれてやがてガンガーサーガルに至る一

東方学院

理念

〈人間〉の回復をめざし
財団法人東方研究会を母胎として
ここに『東方学院』を開設しました。
『東方学院』は本学院の理想に賛同する学者個人と
そのもとで学ぼうとする学徒とによって構成される
共同体としてのグループの連合です。
〈個人指導の場の共同体〉とでもいふべきものをめざしています。

**The Toho Gakuin (The Eastern Academy) was established
with the hope of contributing to the restoration of human integrity.
This Academy is a cooperative body of various academic communities
of scholars and students wishing to learn,
in which scholars provide personal guidance to the students.
Above all, our aim is to have this Academy be the rallying point
for students and scholars.**

東方学院松江校の運営は特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所が行います。

目次

東方学院 理念	2
ごあいさつ・東方学院松江校とは	4
中村元記念館 各講座受講のご案内	6
受講料金表	7
中村元記念館 2022年度講義一覧	8
東方学院松江校 講義案内	10
中村元記念館文化講座 講義案内	26
オンライン(ZOOM)講座について	33
2022年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座 年間スケジュール	34
各講座へのお申込みのご案内	36
2022年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書	37
中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集	39
中村元記念館ボランティアサポーター募集	39
慈しみ(東方学院歌)	40
アクセス	41

表紙絵：
中村元先生とガンガー（パトナ）
—行きゆきて 流れながれて
やがてガンガーサーガルに至る—
画：石川 響

慈しみ

一切の生きとし生けるものは
幸福であれ 安穩であれ 安樂であれ
一切の生きとし生けるものは 幸であれ
何びとも他人を欺いてはならない
たとどこにあっても
他人を軽んじてはならない
互いに他人に苦痛を与える
ことを望んではならない
この慈しみの心づかいを
しっかりと たもて

中村元訳 ブッダのことば

中村 元

(1912~1999)



インド哲学・仏教学の世界的権威であり、比較思想学の開拓者。1500点を超える膨大な著作・論文を発表し、我が国における思想研究の分野を大きく発展させた。従来のセクショナリズムにとらわれない壮大な世界思想史を構築し、その業績は海外でも高く評価されている。

大正元年島根県松江市に生まれ、東京帝国大学でインド哲学を学ぶ。同大学名誉教授。昭和45年財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を設立。昭和48年東方学院を設立し、学院長に就任。昭和49年紫綬褒章、昭和52年文化勲章受章。平成元年松江市名誉市民。

主な著書に『広説佛敎語大辞典』（東京書籍）、『初期ヴェーダーンタ哲学史』（岩波書店）、『東洋人の思惟方法』シリーズ、『インド史』（春秋社）、他多数。

ごあいさつ



東方学院長
前田 專學
(公益財団法人中村元東方研究所理事長・
中村元記念館館長)

平成24年10月10日、私の長年の夢でありました恩師中村元先生の記念館が、大根島の中心に開設され、平成25年4月には、この記念館に東方学院松江校が、東京の東方学院本校と緊密な連携のもとに、開校されましたことは私の最大の喜びです。なぜなら大根とは、ものの根本中の根本、すなわち中村元の元を意味し、将来中海・宍道湖圏域の連携・発展の根本となり、元となり、中村元記念館と松江校がその象徴となることを願っているからです。

中村先生ご自身の書齋、毎日お使いになった34,000冊のご蔵書、その他数々のご遺品とともに、先生はこよなく愛された生まれ故郷の松江に帰ってこられました。先生は、一人でも多くの方々がこの記念館に集い、先生が開拓された学問の道歩み、東洋の思想と文化の精華を吸収され、さらにそれを広く発信し、世界の平和と繁栄に貢献されることを願っておられるにちがいありません。

東方学院には報酬の有無を度外視して教えたいという意欲的な先生方にお集まり頂きました。当学院に入学するのに、年齢も性別も学歴も職業も問いません。唯一必須の入学条件は勉強に対する強い意欲です。それ故に東方学院では受講生とは言わず、研究会員と申します。一人でも多くの研究会員のお出でをお待ちしております。

東方学院松江校とは

老若男女を問わず、誰もが東洋思想について学べる場所
——それが東方学院です。

東方学院は、インド哲学・仏教学の世界的権威である故中村元博士によって、1973年に財団法人東方研究会（現 公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として設立されました。

「真に教えたい一人と、真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ」という中村博士の理念に基づき、学問のセクショナリズムにとらわれない現代の寺子屋として、東京本校・関西教室・中部教室で、多くの人々が東洋思想について教え、学び、日々研鑽を深めています。

そして平成25年4月、中村博士の出身地、島根県松江市の中村元記念館に東方学院松江校が開校されました。

「心の時代」といわれる現代社会、多くの人々が「どのように生きるべきか」という問いを抱えています。中村博士は生涯、インド哲学や仏教をはじめとした東洋の思想を通じて、私たちの「生きる道」を説き続けました。

学問とは真理の探究であり、その扉はいつでも、誰にでも開かれています。

あなたも東方学院松江校で、奥深い魅力にあふれた
東洋の智慧を学んでみませんか？

◆ 東方学院の特徴

- ・ 真に学を究め、道を求めたい人々の学院です。学歴・年齢・職業・国籍・性別などを問いません。
- ・ 専門家のあいだの縄張り意識の無い学院です。だれでも自由に学問を延ばすことができます。
- ・ 講師と研究会員との人間的連絡が緊密です。講師は懇切に指導をいたします。同学の人々とながく協同することが可能です。
- ・ 各講師は奉仕的に指導をいたしますから、若干の分野においては、日本におけるどの大学よりもはるかに詳しい講義がなされています。
- ・ 従来の大学ではなされていないテーマで斬新な講義や実習指導がなされています。
- ・ 学問には熱意が最も大切です。したがって熱意のある方々はいつでも入学できます。
- ・ 東方学院の講義を受講される方を本学院では「研究会員」と称します。

◆ 東方学院設立の経緯と意義

東方学院は、創立者中村元の東京大学退官とともに、昭和45年11月に文部省より財団設立の認可を受けた財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として、昭和48年に設立されました。

その大きな動機は、当時、大学に吹き荒れた学園紛争にともない、学術的には減退傾向にあり、また精神的な砂漠化のさなかにあつて、学術的精神的な拠点となりうる、小さくともしっかりした学院をつくることにありました。そして学問の自由を制約することになる縄張り意識の強いセクショナリズムを廃して、真理探究を目的とする学問本来の姿を回復するためでありました。

大学の外につくることでセクショナリズムを脱し、またカルチャー・センターとも異なる一種の私塾、つまり現代の「寺子屋」として出発しました。真に教えたい一人と真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ—これが創立者・中村元の信念であり、まさに東方学院の原点といえます。

幸いにも、このような考えに同調し、協力を申し出る人々が集まり、学院は開講されました。狭いビルの一角を間借りし手弁当を持ち寄って、文字どおりの「寺子屋」が始まったのです。

しかし、財団の基盤を強固にし、学院を発展させていくためには、しっかりとした学問研究の場所を確保する必要がありました。そこで、創立者の私財をもとに、財団設立に協力して下さった篤志家の方々が、昭和57年「財団法人東方研究会強化募金運動」を開始されました。一高時代の同窓生（「昭8文乙クラス会」のメンバー）である中村敏夫弁護士をはじめとして、同じく星埜保雄、宇佐見鉄雄、倉知善一、新井正明氏らが発起人となり、その資金集めから場所の確保にいたるまで実に並々ならぬご尽力を下さいました。そのおかげで、諸方面から多数の賛同者・協力者を得ることができ、現在のこの場所を入手するにいたりました。東方学院は、これらの人々によって築かれた土台の上に、今日成り立っております。

以来、当学院は、優れた数多くの講師を迎え、多くの方々の善意と学問への熱意によって支えられ発展して参りました。

今後も創立者の遺志を継承し、初心を忘れることなく、ますます発展していきますことを心より念願しております。

財団法人東方研究会
名誉理事長 中村 洛子
(1919~2010)

※財団法人東方研究会は平成24年7月2日付けで、公益財団法人中村元東方研究所へと名称を変更しました。

中村元記念館 各講座受講のご案内

中村元記念館では、下記の講座を開講しています。

1. 東方学院松江校 (No.1-No.17)

受講するには、研究会員になる必要があります。

各講座の受講料は、7ページをご覧ください。

【研究会員について】

■年会費 3,000円

■会員特典

1. 東方学院松江校の各講座を受講できます（右表の受講料が別途必要です）。
2. 中村元記念館ミュージアムショップで販売する書籍を会員割引価格（5%OFF）で購入できます。
3. 中村元記念館で開催する有料のイベントに会員優待価格（20%OFF）でご参加いただけます。
4. 次年度の「受講の手引き」を差し上げます。

※オンライン講座について

遠方在住の講師による講座の一部はオンライン形式で行います。

中村元記念館の会場での受講、もしくはご自宅での受講のどちらかをお選びください。

（詳しくは、33ページをご覧ください。）

2. 中村元記念館文化講座 (No.18-No.25)

どなたでも受講できます。各講座の受講料をお支払いください。

（文化講座の受講生には、次年度の「受講の手引き」を差し上げます。）

* 受講料早期納入割引特典

各講義とも、開校日の原則1週間前までにお申し込み・ご入金されると、受講料が1,000円割引になります。

（注1）お申込書の提出だけでは割引は適用されません。1週間前までのご入金が必要です。

（注2）東方学院松江校講座は年会費・受講料の両方の入金時に割引適用となります。

（注3）吉田宏哲先生の「釈尊から空海まで」は4月3日のお申込・ご入金まで早割が適用されます。

受講料金表

*年会費が必要





種別	NO	講義名	講師名	会員料金	
				会員料金	早割適用 (▲千円)
東方学院 松江校	1	『観無量寿経』を読む	齊藤 舜健	20,200	19,200
	2	入門 日本仏像彫刻史	的野 克之	10,600	9,600
	3	歴史に学ぶということ！—その深さと厳しさ—(その2)	藤島 建樹	25,000	24,000
	4	ラフカディオ・ハーンの松江時代とその作品	横山 純子	10,600	9,600
	5	中村元『真理のこぼれ』講読	清水谷善暁	10,600	9,600
	6	『親と子の仏典童話』講読 ～ 人格の陶冶へ向けた仏典物語の可能性～	岡 宏	11,000	10,000
	7	釈尊から空海まで	吉田 宏哲	13,000	12,000
	8	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ (5)	山口 弘江	5,000	4,000
	9	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ (6)	山口 弘江	5,000	4,000
	10	如来蔵・仏性思想について	下田 正弘	5,000	4,000
	11	瞑想でたどる仏教 —日本の古代編—	蓑輪 顕量	9,000	8,000
	12	厳島神社と五重塔 ～神仏習合の歴史と文化	加藤みち子	9,000	8,000
	13	初期仏教入門 —ブッダのさとりとその教え—	渡辺 章悟	9,000	8,000
	14	唯識思想入門	竹村 牧男	9,000	8,000
	15	仏教聖典へのいざない	釈 悟震	9,000	8,000
	16	『歎異抄』の現代社会へのメッセージ	田中ケネス	5,000	4,000
	17	究極的分析思考の世界 (アビダルマ) 宇宙とは？ 生類とは？ 真理とは？	三友 健容	5,000	4,000

*受講料のみ

種別	NO	講義名	講師名	一般料金	早割適用 (▲千円)
				一般料金	早割適用 (▲千円)
文化講座	18	観想行入門「心を知ろう」	清水谷善圭	12,200	11,200
	19	宮沢賢治短歌とそのゆくえ (中学時代篇)	島田 隆輔	4,200	3,200
	20	伝統芸道香道とは ～聞香体験組香を通して～	大谷香代子	10,600	9,600
	21	風土と民族音楽～「さわり」の機巧と音色	瀬古 康雄	10,600	9,600
	22	初歩からはじめる仏像彫刻	石賀 善章	13,800	12,800
	23	『華表美談 穴道湖嫁島』を読む	岡崎 秀紀	5,800	4,800
	24	『能海寛遺稿』を読む	岡崎 秀紀	10,600	9,600
	25	中国地方の神楽と仏教～中世神話の世界～	中野 秋鹿	4,200	3,200

中村元記念館 2022年度講義一覧

東方学院松江校

No	講義題目	講師名	回数	オンライン 講義	日程	時間	開講日	詳細 ページ
1	『観無量寿経』を読む	齊藤 舜健	12		2回/月 第1・3金曜日	13:30~15:00	5月6日	10
2	入門 日本仏像彫刻史	的野 克之	6		1回/月 第2金曜日	10:30~12:00	5月13日	11
3	歴史に学ぶということ！ —その深さと厳しさ— (その2)	藤島 建樹	15		2回/月 第2・4土曜日	10:30~12:00	5月14日	12
4	ラフカディオ・ハーンの松江時代と その作品	横山 純子	6		1回/月 第3日曜日	10:30~12:00	5月15日	13
5	中村元『真理のこゝろ』講読	清水谷善暁	6		1回/月 第3木曜日	15:20~16:50	5月19日	14
6	『親と子の仏典童話』講読 ～人格の陶冶へ向けた 仏典物語の可能性～	岡 宏	5		1回/月 第4水曜日 ※12月のみ第3週	10:30~12:00	10月26日	15
7	釈尊から空海まで	吉田 宏哲	6		3回/月 第2・3・4月曜日	13:30~15:00 15:20~16:50	5月9日	16
8	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(5)	山口 弘江	2		5月29日(日)	13:30~15:00 15:20~16:50	5月29日	17
9	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(6)	山口 弘江	2		10月2日(日)	13:30~15:00 15:20~16:50	10月2日	17
10	如来蔵・仏性思想について	下田 正弘	2		8月4日(木)	13:30~15:00 15:20~16:50	8月4日	18
11	瞑想でたどる仏教—日本の古代編—	蓑輪 顕量	4		8月6日(土) 8月7日(日)	13:30~15:00 15:20~16:50 10:30~12:00 13:30~15:00	8月6日	19
12	厳島神社と五重塔 ～神仏習合の歴史と文化	加藤みち子	4		8月19日(金) 8月20日(土)	13:30~15:00 15:20~16:50 13:30~15:00 15:20~16:50	8月19日	20
13	初期仏教入門 —ブツダのさとりとその教え—	渡辺 章悟	4		9月9日(金) 9月10日(土)	13:30~15:00 15:20~16:50 10:30~12:00 13:30~15:00	9月9日	21

No	講義題目	講師名	回数	オンライン 講義	日 程	時 間	開講日	詳細 ページ
14	唯識思想入門	竹村 牧男	4		10月24日(月)	13:30~15:00 15:20~16:50	10月24日	22
					10月25日(火)	10:30~12:00 13:30~15:00		
15	仏教聖典へのいざない	積 悟震	4		10月30日(日)	13:30~15:00 15:20~16:50	10月30日	23
					10月31日(月)	10:30~12:00 13:30~15:00		
16	『歎異抄』の現代社会へのメッセージ	田中ケネス	2		11月6日(日)	13:30~15:00 15:20~16:50	11月6日	24
17	究極的分析思考の世界(アビダルマ) 宇宙とは? 生類とは? 真理とは?	三友 健容	2		11月15日(火)	13:30~15:00 15:20~16:50	11月15日	25

※講義によっては日程の一部の週数が異なる場合があります。日程詳細は各講義案内のページをご確認ください。

※講義日は変更になる場合があります。休講、日程変更などの情報は、中村元記念館ホームページでご確認ください。

<https://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/>

※オンライン講義は、記念館またはご自宅で受講できます。ご自宅で受講される方は33ページをご覧ください。

※オンライン講義に「」がある講義について、講師はモニターでの参加になります。

中村元記念館文化講座

No	講義題目	講師名	回数	オンライン 講義	日 程	時 間	開講日	詳細 ページ
18	観想行入門「心を知ろう」	清水谷善圭	7		1回/月 第3水曜日 ※12月のみ第2週	10:30~12:00	4月20日	26
19	宮沢賢治短歌とそのゆくえ (中学時代篇)	島田 隆輔	2		1回/月 第2日曜日	10:30~12:00	5月8日	27
20	伝統芸道香道とは ～聞香体験組香を通して～	大谷香代子	6		1回/月 第2木曜日	10:30~12:00	5月12日	28
21	風土と民族音楽 ～「さわり」の機巧と音色	瀬古 康雄	6		1回/月 第2土曜日	13:30~15:00	5月14日	29
22	初歩からはじめる仏像彫刻	石賀 善章	8		1回/月 第3土曜日	10:30~12:00	5月21日	29
23	『華表美談 宍道湖嫁島』を読む	岡崎 秀紀	3		1回/月 第4土曜日	13:30~15:00	5月28日	30
24	『能海寛遺稿』を読む	岡崎 秀紀	6		1回/月 第4土曜日	13:30~15:00	10月22日	31
25	中国地方の神楽と仏教 ～中世神話の世界～	中野 秋鹿	2		8月28日(日)	13:30~15:00 15:20~16:50	8月28日	32

東方学院松江校 講義案内 (受講料以外に年会費¥3,000が必要)

1 『観無量寿経』を読む

【全12回】／開催方法：現地

さいとうしゆんけん
齊藤舜健

浄土宗総合研究所
主任研究員
浄土宗西方寺住職



受講料 会員料金：¥20,200 早割価格：¥19,200 (納入期限：4月29日)

【日 程】【全12回】 2回／月 第1・3金曜日
(5/6、5/20、6/3、6/17、7/1、7/15、10/7、10/21、11/4、
11/18、12/2、12/16)

【時 間】13:30～15:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

我が国では浄土系宗派の信者が全仏教徒の約半数を占め、それらの浄土系宗派の多くは法然（1133-1212）から始まる。法然がその教えの根拠としたのが『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』の三経典で、浄土三部経と呼ばれる。これらは中国の善導（613-681）や法然の理解を通すことで、わが国の浄土教・阿弥陀仏信仰の根元となった。信徒数の多さとあいまって、わが国の精神文化への影響は尽大なものといえよう。『観無量寿経』には中国において多くの註釈研究があり、特にわが国では善導『観経疏』の影響が非常に大きい。「偏に善導一師に依る」として善導への依拠を標榜する法然以後、その影響のもとでの浄土系諸宗派の宗義学の立場からの研究の積み重ねがあり、内容の理解はもちろん、語句や構文の理解に到るまで、宗義学的な裏づけ、後付の解釈が与えられている。その影響は極めて大きく、それらの理解を離れての読解は困難な点があるので、それらにも目配しながら、経典本文を読み進めて行きたい。

令和4年度は3年度からの継続で、『観無量寿経』第九真身観から読み始める。すでに読了した『観無量寿経』第八像想観までと『無量寿経』の所説を前提とするので、初回にはそれらについて昨年度までの内容を振り返りつつ解説する。

【参考書】

- ①【現代語訳】浄土三部経 著者：浄土宗総合研究所 出版社：浄土宗出版 出版年：2011
- ②浄土三部経（現代語版）浄土真宗聖典 著者：浄土真宗本願寺派総合研究所 出版社：本願寺出版社
出版年：1996
- ③浄土三部経 著者：中村 元，紀野 一義，早島 鏡正 出版社：岩波書店 出版年：1990

2 入門 日本仏像彫刻史

【全6回】／開催方法：現地

まとの かつゆき
の野克之

島根県立石見美術館
非常勤職員



受講料 会員料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：5月6日）

【日 程】【全6回】 1回／月 第2金曜日
(5/13、6/10、7/8、9/9、11/11、12/9)

【時 間】10:30～12:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

日本の仏像の歴史を学びます。皆さんは日本史を中学や高校で学ばれたと思います。しかし、仏像の歴史を学校で学んだ方はほとんどいないでしょう。せいぜい平安時代の国風文化のところで定朝が、そして鎌倉時代の東大寺復興のところで運慶・快慶が出てきたくらいだと思います。

仏像の歴史は、日本全体の歴史を無視して成り立つものではありません。天皇や貴族が力を持った時代は彼らに好まれた仏像が主流となりますし、武士が力を持てば彼らの好みも仏像に反映されます。

今回は、日本の歴史をざっとおさらいしながら、その時代の仏像の特徴や技法をお話します。全国的な名品だけでなく、島根県内の仏像も取り上げます。

仏像の各時代の特徴を見てゆくことにより、初めて拝観する仏像の制作年代がだんだん分かるようになります。これに分かるようになれば、仏像拝観がより一層楽しくなります。

なお、過去にも仏像の歴史をお話したことがあります。今回は構成を新たに、奈良や京都といった中央と島根の動向を比較するなど、より身近に感じていただくようにします。

第1回 飛鳥時代

仏教が大陸から日本に伝わり、いよいよ日本にも仏像がやってきました。渡来人を祖父に持つ止利仏師が活躍しました。692年には出雲市鱒淵寺の金銅仏も出雲で造られました。

第2回 奈良時代

聖武天皇が全国に国分寺と国分尼寺を造るよう詔を出します。松江市にも造られました。奈良では奈良の大仏、阿修羅像など名品が生まれます。

第3回 平安時代前期

最澄と空海が中国へ渡り、密教を日本に伝えます。同時に日本になかった密教像が造られます。松江市佛谷寺、出雲市大寺薬師にこの時代の名品が残ります。

第4回 平安時代後期

日本人が死後の世界を意識するようになり、極楽に行くことを願い浄土教を信仰します。それに伴って仏像の様式も変わります。もっとも有名な像が宇治平等院の阿弥陀像です。安来市清水寺や松江市華蔵寺にも名品が残ります。

第5回 鎌倉時代

源平合戦で焼かれた東大寺と興福寺の復興に、いままでの京都の仏師だけではなく、奈良の仏師が大活躍します。彼らは源頼朝をはじめとする武士の支持を集めました。松江市浄音寺には京都で活躍していた仏師の像が残ります。

第6回 室町時代・江戸時代

室町時代は尼子家など戦国武将もスポンサーとなり仏像が造られました。松江市報恩寺には巨大な十一面観音像が残ります。江戸時代には戦国時代に焼けた寺院の復興が盛んに行われ、徳川幕府もスポンサーとなっています。また、貴族や武士だけでなく、豪商や豪農たちもスポンサーとして登場するようになりました。

*一部内容が変更する場合があります。

【参考書】

『完本 仏像のひみつ』 著者：山本勉 出版社：朝日出版社 出版年：2021

3 歴史に学ぶということ！—その深さと厳しさ—（その2）【全15回】／開催方法：現地

ふじしまたて き
藤島建樹

大谷大学名誉教授
真宗大谷派圓浄寺住職



受講料 会員料金：¥25,000 早割価格：¥24,000（納入期限：5月9日）

【日 程】【全15回】 2回／月 第2・4土曜日
(5/14, 5/28, 6/11, 6/25, 7/9, 7/23, 10/8, 10/22, 11/12,
11/26, 12/10, 12/24, 2023/1/28, 2/11, 2/25)

【時 間】10:30~12:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

2年前の春、いつもの様に書店で新刊書を見ていた時「中国の歴史」と記した新書版全五巻が目にとまりました。久方ぶりの中国史関係の概説書でしたので、早速手に取り、序文から開いて立ち読みを始めました。そこで強調されていたのは、従来なされてきた日本の中国史研究が、中国という多元的な顔と動きをとらえきれなかったことを見て、グローバル化の現代にふさわしい中国の顔と姿に迫れる多元的な中国史の叙述が必要であろうと提言されていた。全五巻というのは従来の中国史概説より短い中で多元性をどこまでとらえることができるであろうか。また中国史の大きな魅力である英雄的人物描写も抑えられて歴史的な言葉もひかえ目に述べられているようである。

要するに従来の中国史研究の重厚な叙述を押えつつ、多元的視野で将来の「ユーラシア大陸史」を意図することのようであるが、その記載は多元的に及ぶことを理解しつつ「大学一年生」に読んでもらえるものを意図することも期待して、もう一年この新しい中国史を考究してみたいと思っている。

【参考書】

- ①岩波新書〈シリーズ 中国の歴史〉1「中華の成立 唐代まで」
著者：渡辺信一郎 出版社：岩波書店 出版年：2019
- ②岩波新書〈シリーズ 中国の歴史〉2「江南の発展南宋まで」
著者：丸橋充拓 出版社：岩波書店 出版年：2019
- ③岩波新書〈シリーズ 中国の歴史〉3「草原の制覇 大モンゴルまで」
著者：古松崇志 出版社：岩波書店 出版年：2020
- ④岩波新書〈シリーズ 中国の歴史〉4「陸海の交錯明朝の興亡」
著者：檀上寛 出版社：岩波書店 出版年：2020
- ⑤岩波新書〈シリーズ 中国の歴史〉5「『中国』の形成 現代への展望」
著者：岡本隆司 出版社：岩波書店 出版年：2020

4 ラフカディオ・ハーンの松江時代とその作品

【全6回】／開催方法：現地

よこやまじゅん こ
横山純子

島根大学ラフカディオ・
ハーン研究会事務局長
中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員



受講料 会員料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：5月9日）

【日 程】【全6回】 1回／月 第3日曜日
(5/15、6/19、7/17、10/16、11/20、12/18)

【時 間】10:30~12:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

私が中村元記念館の講座を始めるようになった2017年度にラフカディオ・ハーン (Lafcadio Hearn, 1850-1904) の来日後第一作目の『日本瞥見記』(*Glimpses of Unfamiliar Japan*) の作品の表現についてとりあげたが、今回はハーンの松江時代に焦点をあて、ハーンの松江での体験をもとに生み出された作品と一緒に考察致したい。

ハーンの松江時代を知る手がかりとしては、ハーンの自筆の手帳や原稿、ハーンが書いた記事、ハーンの手簡、西田千太郎日記、『山陰新聞』の記事等がある。松江時代のハーンの足跡をたどりながら、ハーンの松江時代と松江での創作がどのようなものだったか改めて捉え直してみよう。

1890年4月4日に横浜に上陸したハーンは島根県尋常中学校と師範学校の英語教師となる契約を結び、同年8月30日に松江に到着した。そして1891年11月15日に第五高等中学校赴任のために、熊本に向けて松江を出発した。ハーンが松江にいたのは、443日であった。ハーンが松江の印象を一日に凝縮して書いた作品が『日本瞥見記』の「神々の国の首都」(“The Chief City of the Province of the Gods”) である。また『日本瞥見記』の「さようなら」(“Sayōnara”!) では、松江を去る時の松江の印象が、走馬灯のように名詞句を重ねた形で印象的に語られている。『日本瞥見記』にはその他松江を取り上げた作品が「加賀の潜戸」(“In the Cave of the Children’s Ghosts”)、「美保関にて」(“At Mionoseki”)、「八重垣神社」(“Yaegaki-Jinja”)、「日本の庭で」(“In a Japanese Garden”)、「英語教師の日記から」(“From the Diary of an English Teacher”) 等ある。ハーンの松江時代を鑑みながら、ハーンが『日本瞥見記』の中で松江をどのように描写しているか辿ってみることとする。

5 中村元『真理のことば』講読

【全6回】／開催方法：現地

しみずたにぜんぎょう
清水谷善 暁

特定非営利活動法人
中村元記念館東洋思想
文化研究所理事
公益財団法人中村元
東方研究所非常勤研究員



受講料 会員料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：5月12日）

【日 程】【全6回】 1回／月 第3木曜日
(5/19、6/16、7/21、10/20、11/17、12/15)

【時 間】15:20～16:50

■受講に必要なもの（講義までにご用意ください）

[テキスト] **講義までにご購入ください。**

書名：『〈仏典をよむ〉2 真理のことば』

著者：中村元 出版社：岩波書店 出版年：2018

昭和60（1985）年4月から9月にかけて、NHKラジオ第二放送で中村元先生によって行われた全26回にわたる連続講義「こころをよむ／仏典」の活字化された「仏典をよむ」シリーズが、平成29（2017）年に岩波現代文庫から新たに出版されました。これにより、本シリーズの入手がより容易になりました。

本講義では、その「仏典をよむ」シリーズの第2巻に当たる『真理のことば』を講読していきます。本年度は「第8回 人間関係—『シンガーラの教え』(1)」から再開いたします。

なお、講義初回は前年度読み進めたところまでの解説も行いますので、今年度から受講希望される方もご安心ください。

なお、研究会員（受講者）には『〈仏典をよむ〉2 真理のことば』（岩波現代文庫）を購入していただく必要があります。

【参考書】

- ①『原始仏典第3巻 長部經典Ⅲ』 著者：中村元 他 出版社：春秋社 出版年：2004
- ②『アショーカ王碑文』 著者：塚本啓祥 出版社：第三文明社 出版年：1976
- ③『ミリンダ王の問い』1～3 著者：中村元・早島鏡正 出版社：平凡社 出版年：1963～64

なお、現在②と③は入手が難しい状況にあります。参考資料については、講義の際にお話しします。

6 『親と子の仏典童話』講読 ～人格の陶冶へ向けた仏典物語の可能性～ 【全5回】／開催方法：



おか ひろし
岡 宏

近畿大学 講師
中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員



受講料 会員料金：¥11,000 早割価格：¥10,000（納入期限：10月19日）

【日 程】【全5回】 1回／月 第4水曜日 ※12月のみ第3週
(10/26、11/23、12/21、2023/1/25、2/22)

【時 間】10:30～12:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

花岡大学氏が本文を手がけた『親と子の仏典童話』（小学館、1979.12.8）は、中村元博士が監修された書籍の一つで、「仏典童話の本義」と題した序文では、善良な人々の人格の陶冶・形成が、「塔院（ストゥーバ）に安置された気高く優雅で慈悲深い仏像への礼拝と、その際に説教者の語った童話や寓話などの物語を聞いて法悦に浸る過程で行われた（趣意）」と述べられています。

この定期講義では、医療と仏教の協働可能性について、「物語」と仏典『大丈夫論』を基軸に考察を行い、昨年度は「絵本」を対象にも選びました。

そこで本年度からの講義では、先の『親と子の仏典童話』を題材に、仏典から童話へと展開する「物語」について、仏典の教義的用語や論議が童話（物語）の主要なモチーフへと展開を遂げていく過程を、邦語訳仏典を参考にしつつ、「看取り」、生活臨床でのさまざまな出来事などを「思い・感じ・考え」てみたいと思います。

【講義計画】

- 第1回「弓の名人」（ジャータカ）
- 第2回「乳のつぼ」（仏説犢子経）
- 第3回「象とはどのようなものか」（六度集経・第8）
- 第4回「おうむの消防」（旧雑譬喻経・第23）
- 第5回「やしのみどすん」（ジャータカ）

7 釈尊から空海まで

【全6回】／開催方法：



よしだ こうせき
吉田宏哲

大正大学名誉教授
真言宗智山派宗機顧問
宥勝寺住職



受講料 会員料金：¥13,000 早割価格：¥12,000（納入期限：5月2日）

【日 程】【全6回】 3回／月 第2・3・4月曜日
(5/9、5/16、5/23)

【時 間】13:30～15:00・15:20～16:50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

「人生は四苦八苦だ」と言われると、誰しも「そんなことは無い、人生には楽しいことも一杯ある」と反論するでしょう。けれども、四苦八苦の「苦」とは「思い通りにならない」という意味で、「四苦」とは「生まれる、年をとる、病気になる、亡くなる（生老病死）」ことだと言われると、誰もがその通りだと納得すると思います。更に人は誰かを愛して生きていきますが、その愛する人にいつかは別れるということも、やはり思い通りにはならないのです。

さて、それでは人類の歴史上、「人生は四苦八苦だよ」と言った最初の人是谁だったかご存じでしょうか？

その人こそ仏教の開祖、お釈迦さまなのです。お釈迦さまは何故そんなことを言われたのか。その理由は、お釈迦さまは今から2500年以上昔のインドの釈迦国の王子だった方ですが、若いころ、老人や病人や葬式に出会って、いずれは自分もそうなるということを知って、この問題を解決しようとし、城を出て修行の旅に出、6年間の難行苦行の後に、遂に悟りを開いてこの問題を解決した。そこでその解決は一切の苦からの解放であるから、大安楽の境地であり、一切の思い通りにならないことからの解放であるから、大自在の境地であった（涅槃）、とされています。そこでそれではどのようにしてその境地に到達できるのかを、人々に説法された。

その最初の説法が四つの真理で、その第一の真理が前述の「一切が苦である（生老病死等は思い通りにならない）」というものだったのです。そこでお釈迦さまはこれを解決したのですから、どのように解決したかの方法が、次の三つの真理によって説かれました。即ちその第二の真理は「苦には原因の集まりがある」という真理。第三は「苦の原因の集まりを無くせば、苦は無くなる」という真理。第四は「苦の原因の集まりを無くす実践の方法」という真理です。

これを聞いて人々はそれでは自分たちもお釈迦さまに従って修行し、お釈迦さまと同じ境地に至りたいと願い、ここに仏教教団が成立し、その後、2500年の長きにわたって仏教が続いているのです。

この四苦八苦からの解放の方法論に関して、その後の仏教の歴史的展開を辿り、最後に真言密教の開祖日本の空海に至るまでの経過をこの授業では考察していきます。目次は次の通りです。

- I 釈尊以前のインドの宗教・哲学と釈尊仏教
- II 世界の宗教の類型的考察
- III 道徳と宗教の違い
- IV 小乗仏教と大乘仏教（中観・唯識・華嚴・天台）
- V 真言密教（『大日経』・『理趣経』）と空海

8 仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(5)

【全2回】／開催方法：現地

やまぐちひろえ
山口弘江

駒澤大学仏教学部准教授



受講料 会員料金：¥5,000 早割価格：¥4,000（納入期限：5月23日）

【日程・時間】【全2回】 5月29日(日) 13:30～15:00・15:20～16:50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジユメ配布

9 仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(6)

【全2回】／開催方法：現地

やまぐちひろえ
山口弘江

駒澤大学仏教学部准教授



受講料 会員料金：¥5,000 早割価格：¥4,000（納入期限：9月26日）

【日程・時間】【全2回】 10月2日(日) 13:30～15:00・15:20～16:50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジユメ配布

『維摩経』は、漢訳では3巻と短い内容ながらも、東アジアの仏教思想および文化に大きな影響を与えた代表的な大乘経典の一つとされます。『法華経』などのように特定の宗派の聖典とされることはありませんでしたが、だからこそ『維摩経』は信仰や教義の垣根を超えて、多くの人々に愛読されました。また、近代以降は東アジアだけでなく、世界中の仏教学者が『維摩経』に着目し研究を行ったことで、欧米語なども含め、数多くの現代語訳が刊行されるに至っています。1999年には、これまで残っていないとされていたインド古典語のサンスクリット語によるテキストが日本の大正大学の調査隊によってチベットのポタラ宮で発見されました。この大発見によって、『維摩経』の研究は近年さらなる進展を遂げています。

お経の主人公は、仏ではなく維摩詰という大富豪です。在家菩薩として一目置かれる存在の維摩詰が、ある時、病気となります。その知らせを受け、仏は弟子を見舞いに遣わそうとするのですが、ここから物語は大きく展開していきます。全14章の中には、読者を惹きつけてやまない名場面が随所に設けられています。深淵な教理を巧みな譬喩で表現するレトリック、維摩詰が仏の十大弟子をはじめ、弥勒や文殊といった大菩薩をやりこめる見せ場、方丈という小さな病室に無限の空間を見せる演出など、さまざまな手法をこらして大乘経典の醍醐味を我々に示しているのです。

本講義では、『維摩経』の諸訳の中で最も広く読まれた鳩摩羅什訳『維摩詰所説経』をテキストに、本文を講読します。2018年度には「仏国品第一」、2019年度には「方便品第二」「弟子品第三」、2020年度には「菩薩品第四」を講読しました。それらの内容をふまえつつ、今年度は「問疾品第五」「不思議品第六」を受講者の皆さんとともに輪読する予定です。

受講を通じて、みなさんが『維摩経』の世界を原典に基づきみずから味わい、仏教漢文の基礎を身に着けることを目的としています。

- *2018年度から継続している講義ですが、今年度からはじめて受講される場合でも理解できるよう説明しますので、新規の方もご心配なくお申し込みください。
- *受講にあたって特別な予習は必要ありませんので、これまであまり仏典に触れたことがない方や、歴史や漢文・漢字に興味のある中高生の受講も歓迎します。
- *当日は講読がメインとなりますので、漢和辞典を持参してください。新たに購入する場合は、『全訳 漢辞海』第四版（三省堂、2016年）を推奨します。

【参考書】

- ①中村元『現代語訳大乘仏典3 『維摩経』『勝鬘経』』東京書籍、2003年
- ②高橋尚夫、西野翠『梵文和訳 維摩経』春秋社、2011年

10 如来蔵・仏性思想について

【全2回】／開催方法：現地

しもだまさひろ
下田正弘

東京大学大学院
人文社会系研究科教授
日本印度学仏教学会理事長



受講料 会員料金：¥5,000 早割価格：¥4,000（納入期限：7月28日）

【日程・時間】【全2回】8月4日(木) 13:30~15:00・15:20~16:50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

苦悩の現実の底に沈みこみ、出口をどこにも見いだせない凡夫が、あまねく仏になりゆく存在であることを仏の視座から照らし出した思想、それが如来蔵思想であり、仏性思想である。如来蔵、その同義とみなされる仏性という概念は、遅くとも紀元後4世紀ごろ『大般涅槃経』において登場した。その後、『如来蔵経』『勝鬘経』『央掘摩羅経』など、いくつかの大乘経典によって発展的に継承されたこれらの概念は、真如、三宝、菩提、仏身など、仏教思想上の重要な主題を巻き込みながら、仏教における救済論というべき体系的な思想として、6世紀ごろ『宝性論』において完成する。

如来蔵思想は、インドを超えて東アジアとチベットの仏教にも大きな影響を与え、それぞれに独自の思想をかたちづかった。東アジアにおいては、一方では『涅槃経』を中心に思想が受容され、他方では唯識関係の論書と結びつきながら『大乘起信論』において思想が完成された。6世紀に中国で成立した可能性の高い、わずか一巻からなる小片のテキスト『起信論』は、如来蔵をアラーヤ識と真如とに存在論的に重ねあわせ、真如が無明の薫習を受けつつ輪廻と涅槃がともに現成するという、インドでは確認されない独自の思想を完成した。他方、チベットにおいては、如来蔵思想が現れる11世紀以降、『宝性論』を中心に多様な如来蔵思想の議論が深化する。

こうした如来蔵思想には、一つの課題が残されたままになっている。それは、すべての衆生に仏の本性が存在することを説き、その本性をアートマン（真我）と表現する如来蔵思想は、正統的な仏教の無我思想や法の無自性を前提とする空思想とは相いれず、端的に言えばヒンドゥー思想そのものではないかという批判である。この批判にどのようにこたえられるかは、仏教の実践的な倫理における、重要な課題である。

本講義では、大乘仏教思想のもっとも発展した段階を示す如来蔵、仏性思想の意義について、研究の方法の問題、宗教一般における救済に関わる世界観に対する認識の問題、仏典における言説の様相の差異と思想との関係という、三つの観点から概観する。そのうえで、平等と差別という重要な問題が、仏教思想においてどのように解決されるかを探りたい。

【参考書】

- ①『仏教とエクリチュール』 著者：下田正弘 出版社：東京大学出版会 出版年：2020

11 瞑想でたどる仏教 —日本の古代編—

【全4回】／開催方法：現地

みの わ けんりょう
蓑輪 顕量

東京大学大学院教授
(人文社会系研究科・
インド文学インド哲学
仏教学 専門分野)



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000 (納入期限：8月1日)

【日程・時間】【全4回】 8月6日(土) 13:30~15:00・15:20~16:50
8月7日(日) 10:30~12:00・13:30~15:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

仏教の伝えた瞑想は身心の観察をその内実とする。それは私たちの日常に経験する悩み苦しみを超える道であったと位置づけられる。具体的には、観察の対象になるものに「注意を振り向けしっかりと把握する」ことであった。この原則を保ちつつも、瑜伽行派が登場すると、若干、異なったニュアンスが、修行道の中に入ったように思われる。

やがて、仏教の修行実践は東アジア世界に伝わり、最終的に日本にも伝わった。日本古代の仏教界において、修行はどのように受け止められ、実践されていったのであろうか。残念ながら、このような視点に答えてくれる資料は限定されており、あまり多くはない。しかし、少ないなりに、ある程度の流れとその実際を推測することができる。

この講義では、瞑想に焦点を当て、日本古代の飛鳥時代から平安時代にかけての修行実践について、考察を試みる予定である。

- 第一回 飛鳥時代の修行実践—道昭を中心に
- 第二回 奈良朝期の法相宗の実践—行基と道鏡の場合
- 第三回 平安初期の法相宗の実践 徳一の場合
- 第四回 平安初期の天台宗の実践 最澄の場合

【参考書】

『仏典とマインドフルネス』著者：蓑輪顕量編 出版社：臨川書店 出版年：2021
(本書は仏教の修行道を現在の科学と関連づけて探ろうとする試みです。)

かとう
加藤みち子

武蔵野大学仏教文化
研究所 特任教授
中村元東方研究所
主任研究員



受講料	会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：8月12日）
-----	-------------------------------------

【日程・時間】【全4回】 8月19日(金) 13:30～15:00・15:20～16:50
8月20日(土) 13:30～15:00・15:20～16:50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

広島湾南西部に浮かぶ厳島に鎮座する厳島神社は、世界文化遺産にも指定された人気の神社ですが、中世には神仏習合をしていたことはあまり知られていないようです。今回は、厳島神社と五重塔を柱として、仏教と神道がどのような関わりをもちつつ発展していったのかを読み解いていきます。

1 時限目 平清盛・『平家納経』と厳島神社

厳島神社といえば、平清盛の『平家納経』が有名ですが、ここにも「神仏習合」が読み取れます。

清盛は、なぜ『平家納経』を厳島神社に収めたのか。それ以前の厳島神社はどういう存在であったのか。ご祭神はどんな神様なのかということ、資料やスライドを見ながら検討していきます。

2 時限目 宗像三女神から弁財天へ

厳島神社のご祭神は、宗像三女神ですが、宗像大社と厳島神社はどういう関係なのでしょう。また、厳島神社で有名な「弁財天」と宗像三女神はどのような関係なのでしょう。ここでは、女神たちの流転と変遷に注目し、厳島神社の神仏習合を読み解きます。

3 時限目 宇賀神とはどんな神様か—仏教との関係

弁財天というと、通常は音楽神たる女神ですが、弁財天の中には独特の様相をした「宇賀弁財天」という神様がいます。厳島の弁財天は、宇賀弁財天の姿で描かれることもありますので、ここでは、宇賀弁財天を中心に、仏教の影響を検討します。

4 時限目 厳島神社と両部鳥居

厳島神社といえば、海上に浮かぶ大鳥居が、いわばシンボルとして有名ですが、この鳥居のスタイルは「両部鳥居」といいます。両部というのは神仏習合の両部神道のこと。そこで、厳島神社と両部神道の関わりについて検討し、中世厳島神社の神仏習合の展開をみていきます。

【参考文献】

- ・小松茂美『平家納経の研究』講談社、1976年
- ・『不滅の建築4 厳島神社』毎日新聞社、1988年
- ・野坂元良編『厳島信仰事典』、戎光祥出版、2002年
- ・原田佳子『厳島神社の祭礼と芸能の研究』芙蓉書房出版、2010年
- ・三浦正幸『平清盛と宮島』、南々社、2011年
- ・神道大系・神社編40『厳島神社』、1987年
- ・『広島県史 中世』広島県、1980年

13 初期仏教入門 —ブッダのさとりとその教え—

【全4回】／開催方法：



わたなべしやう こ
渡辺章悟
東洋大学教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：9月2日）

【日程・時間】【全4回】 9月9日(金) 13:30～15:00・15:20～16:50
9月10日(土) 10:30～12:00・13:30～15:00

■受講に必要なもの

【講座の到達目標】

本講座の目的は「仏教とは何か」を考える視座を提供するものです。仏教の本質はブッダ（仏）、教え（法）、教団（僧）という「三宝」があげられます。この三つの要素をインドの社会背景から考察してみます。

【講座の内容】

本講座では上記の「三宝」を順次検討していきます。まず、ゴータマ・ブッダが登場したインドの社会的背景を知ることが、仏教をよりよく理解する上で重要です。その視点のうえで、“歴史上の〈ブッダ〉はいかなる生涯を歩んだのか、ブッダのさとりはどうして達成されたのか”について論じていきます。ついで、ブッダの教えがどのようにまとめられ、体系化されていったのか、つまり〈教えの編纂〉について概説します。そして最後に、教えに従って生きる弟子たちの〈教団〉（僧伽）はどのように形成され、教団分裂はどのようにして起きたのかを分析します。この分裂の原因と結果を知ることが「仏教とは何か」という問いに対する答えの視座を提供することになるでしょう。以上、本講座はインドにおける仏教の成立から大乘仏教成立以前までを扱います。

【参考書】

- ①ブッダを知る事典 著者：菅沼・渡辺共編 出版社：佼成出版社 出版年：2011
- ②『仏教の形成と展開』新アジア仏教史2 著者：奈良康明等編 出版社：佼成出版社 出版年：2010
- ③『ゴータマブッダⅠ・Ⅱ』中村元選集11・12 著者：中村元 出版社：春秋社 出版年：1992

14 唯識思想入門

【全4回】／開催方法：現地

たけむらまき お
竹村牧男

東洋大学名誉教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：10月17日）

【日程・時間】【全4回】 10月24日(月) 13:30～15:00・15:20～16:50
10月25日(火) 10:30～12:00・13:30～15:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

唯識思想は、インドで5世紀頃、無著・世親らによって大成されました。それは大乘仏教全体に共通の世界観を提供しており、大乘仏教の基本的な教義を担うものとなっています。7世紀に、玄奘三蔵がこれを中国に移入し、法相宗が成立しますが、それは時を置かずに日本にも伝えられ、奈良の興福寺や薬師寺で研究されました。

唯識思想の代表的な文献には、無著の『撰大乘論』、世親の『唯識三十頌』などがあります。『唯識三十頌』は、わずか30の詩に、唯識思想のすべてを盛り込んだ、非常に優れた作品です。法相宗の根本聖典は『成唯識論』ですが、これは『唯識三十頌』の詳細な注釈書です。

この唯識思想は、唯心論の一種と思われがちですが、単なる唯心論ではなく、非常に精緻な哲学を展開しています。特に意識下の末那識・阿頼耶識等の説明は人間存在の深みを克明に捉えたものであり、また唯識思想に固有の三性説（遍計所執性・依他起性・円成実性）は、言語・認識・存在の関係に関する、現代哲学にも通じるような高度な哲学を開演しています。私自身は、唯識思想は事的世界観を説くものであり、唯心論でも唯物論でもない、唯事論の哲学であるとおもっています。

唯識思想の哲学体系の中に、世界観・人間観のみならず、修道論、仏身論その他、仏教が論じるすべての主題を包含しており、しかもそれらに関してきわめて論理的に精緻な議論を貫いていて、現代人にとっても興味は尽きないものです。

今回の講義では、この唯識思想について、1、大乘の諸法の分析、2、阿頼耶識の理論、3、三性説の哲学、4、修行と仏の世界という4つのテーマの下に、出来るだけわかりやすく解説したいと思っています。

【参考書】

『インド仏教の歴史』 著者：竹村牧男 出版社：講談社学術文庫 出版年：2004

15 仏教聖典へのいざない

【全4回】／開催方法：現地

しゃく こしん
釈 悟震

公益財団法人中村元
東方研究所業務執行理事
中村元記念館東洋思想
文化研究所副所長
文学博士
スリランカ国立ペーラ
デニヤ大学客員研究員
公益財団法人中村元
東方研究所副総括研究員



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000（納入期限：10月24日）

【日程・時間】【全4回】 10月30日(日) 13:30～15:00・15:20～16:50
10月31日(月) 10:30～12:00・13:30～15:00

■受講に必要なもの

[テキスト] 講義までにご購入ください。

『仏教経典散策』 著者：中村元編著
出版社：東京書籍
角川文庫 出版年：2018

「はちまんだいぞうきょう八万大藏経」ともいわれるほど膨大な仏教の経典。どうして仏教はこれほど経典が多いのか。その理由や真の意味はどこにあるのか。またわたくしどもは、どれだけの経典の内容や意味を理解しているのであるだろうか、等々多くの疑念に対する紐を解くと同時に、われわれの日常生活文化になじんでいる仏教をより身近に感じさせ、摩訶不思議なる心の安らぎを覚えさせる講義であってほしいと願っております。

そこで本講義では、長い間もっとも難解で親しみやすくない仏教の聖典をわたくしどもが親しみやすくなるように、生涯をかけて心血を注いだ中村元博士の数多くの珠玉の教説から選定された『スッタニパータ(経集)』、『ダンマバダ(法句経)』、『般若心経』を始め、中村元博士の門下生よりつづられた『華嚴経』、『法華経』、『維摩経』、『勝鬘経』、『父母恩重経』、『観音経』、『金剛経』など最初期の仏教聖典から大乘仏教ならびに密教の聖典中においても、いにしえから最も著名な仏教聖典を中心に、説話やエピソードを交えてつづられた『仏教経典散策』を主要テキストとして、より分かりやすく、なおかつ担当講師独自の目線において仏教聖典への思惟方法をふまえて、そのいざないを昨年度につづいて順次、講じてまいります。

【本講義進捗の件について】

膨大な仏教聖典のなかで、仏教伝来約二千有余年という長い歴史を有する日本仏教において親しまれつつ、地球上どこの民族も有し得ない日本人特有の文化ならびに人間形成をなしとげた本テキストに挙げられた仏教経典の数々。それらに関わる深層の真相を全地球的観点、とりわけ仏教発祥の地、インドおよび漢字文化圏である、中国、朝鮮半島、日本にいたるまでを概観するのも、本講義の特徴であります。次年度においても本テキストに挙げられている経典を順次かつ継続的に進捗されることを念頭において企画された講座であることを申し上げます。

本年度は、日本の精神史ならびに文化史を築き上げた聖徳太子が数多くの大乘仏教の聖典よりことさら愛しつづけ、多くの日本人に教え勸進せられた『維摩経』、『勝鬘経』につづき『華嚴経』から、その昔から日本の隅々において通常知り得ないさまざまな知識が生活文化とともに内在されていることに気づき、その智慧を学ぶことになるだろうと思ひます。

以上の内容を踏まえて、【仏教聖典へのいざない】を記憶に残る講義として進めたく思っております。どうかご興味とお志がおありの方々のご参集を心待ちを致したく存じております。

16 『歎異抄』の現代社会へのメッセージ

【全2回】／開催方法：現地

たなか
田中ケネス
武蔵野大学名誉教授



受講料 会員料金：¥5,000 早割価格：¥4,000（納入期限：10月31日）

【日程・時間】【全2回】 11月6日(日) 13:30～15:00・15:20～16:50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジユメ配布

『歎異抄』は、浄土真宗の宗門の壁を越え注目され、幅広い層の人々の間で人気を呼んでいる宗教書物です。海外でも日本仏教を代表する書物として数ヶ国語に訳され、英語だけでも10冊以上の訳が存在します。

前回は英訳を通して『歎異抄』を学びましたが、今回は、日本語で本書の要点を見ていくことにします。『歎異抄』は、日本が誇ることができる素晴らしい宗教書ではありますが、そこには、宗教的価値観に基づきながら、現代の社会的問題を考えるメッセージが潜んでいると思われます。

それらのメッセージは、現代社会における差別、分断、格差などに対する平等観、自己反省、一体性、主体性などの価値が含まれていると言えます。例えば、第5章で親鸞は、「一切の衆生が父母・兄弟である」という趣旨なことを述べています。もちろん種々な解釈は可能ではありますが、ここに、親鸞の平等観と一体性を見出すことができ、宗教的な視点より経済的格差や他者への偏見と差別などを考え、行動と実践の原動力につながると考えます。

どうかこの講座で、個人の内面の安定だけでなく、世の中の種々な課題に積極に向き合えるメッセージを、一緒に『歎異抄』から発掘致しましょう。

17 究極的分析思考の世界 (アビダルマ) 宇宙とは? 生類とは? 真理とは? 【全2回】/開催方法: 現地

みともけんよう
三友健容

立正大学名誉教授
高応寺院首



受講料 会員料金: ¥5,000 早割価格: ¥4,000 (納入期限: 11月8日)

【日程・時間】【全2回】 11月15日(火) 13:30~15:00・15:20~16:50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

釈尊によって説かれた教え(法)とより良き生活慣習規範(律)が第一結集で合意承認を得ると、弟子たちはその教えを体して修行し悟りを開いていった。しかし、やがて教えの細かな意味について明解な応えを示してくれる長老たちが少なくなり、正しい意味を解説伝持しておく必要が生じた。これが、三蔵(経・律・論)のひとつであるアビダルマ(教えに対する注釈、論蔵)の編纂である。

のちの大乗仏教では、このアビダルマの詳細な分別智を否定した無分別智を究極の到達点としたが、このアビダルマは、まさに長老たちの叡智の結晶であり、詳細に吟味分析思考(分別)することによって曖昧さを排除し、究極的な智慧をもって悟りへの法を詳細に解説している。生死輪廻の迷いの世界から脱却して悟りに到達するにはどうしたらよいのかという方法が明快に述べられている。その説明範囲は大宇宙の生成から極小の極微(原子)にまで至り、そこに生息する生き物(有情)たちが出現したころの初めから、やがてはやってくる、この世の壊滅などが説かれているので、まずここから講義に入る。

つぎに、あらゆる存在は偶然生じたり、全知全能なる絶対神が作ったりするのではなく、生じた結果にはかならず原因があると考え、六因・四縁・五果をもって究明し、われわれの何気ない動きも、つぎの結果を生んでいくという教理を探求する。

われわれは、業因によって業果を生む。決して偶然ではない。そこには個別的な業だけではなく、おなじ時代、おなじ地域の人たちの営みが業果を生んでいく共同責任(共業)があり、自分だけは別であることはない。まさに「因果の道理、歴然として私なし」の世界である。

その業因は、煩悩に汚染された心から生じている。そこで煩悩とはなにかについて分析的思考が行き着いたところを解説する。

すべての苦しみ迷いはこの煩悩によって引き起こされる。アビダルマは、この煩悩を詳細に究明し、その断じ方を教えてくれる。のちの大乗仏教から、己れひとりの解脱救済しか説かないと批判されるが、「人間は考える葦である」(パスカル)。悟りへの道程上の不確かな解答はなく、まさに究極的分析思考がたどり着いた、悟りの世界を概説し、仏教の根本思想「戒定慧の三学」に立脚した世界を追体験できれば幸いである。

【参考書】

- ①『存在の分析 アビダルマ』 著者: 櫻部健 出版社: 角川ソフィア文庫
- ②『俱舎概説』 著者: 河村孝照 出版社: 山喜房佛書林
- ③『天台四教儀談義』 著者: 三友健容 出版社: 大法輪閣
- ④『アビダルマディーパの研究』 著者: 三友健容 出版社: 平楽寺書店

中村元記念館文化講座 講義案内 (年会費不要、受講料のみ必要)

現代社会のなかでどのように生きていくのか、東洋の文化に改めて向き合ってみませんか。受講料のみで参加できます。お気軽にご参加ください。

18 観想行入門「心を知ろう」

【全7回】／開催方法：現地

しみずたにぜんけい
清水谷善圭

清水寺貫主



受講料 一般料金：¥12,200 早割価格：¥11,200 (納入期限：4月13日)

【日 程】【全7回】第3水曜日 10:30~12:00 ※12月のみ第2週
(4/20、5/18、6/15、7/20、10/19、11/16、12/14)

【時 間】10:30~12:00

■その他

座禅をしますので動きやすい服装でお越しください。

私達凡夫が悩み、苦しみ、悲しむのは自分自身の心を知らず、心に従属させられているからです。喜びと平安を得て幸せを掴む為には心の主人（即ち自分自身の心を知り、心を制御・コントロールする力をつける）とならなければなりません。この講座は止観（坐禅）を通して、自分自身の心を観、心の動きを観察して心を制御する力を養います。一緒に心の主人となりましょう。

第1講座 この世が苦である原因

第2講座 心の無知・執着を知る

第3講座 止観とは

第4講座 心を観察する準備

1. 環境を整える

2. 呼吸を整える

3. 姿勢を整える

第5講座 心を観察する

1. 心の騒ぎを止める

2. 騒ぐ心の源を観察する

第6講座 心の主人となろう

1. 集中力・制御力をつける

2. 智慧の完成まで

第7講座 まとめ

19 宮沢賢治短歌とそのゆくえ（中学時代篇）

【全2回】／開催方法：現地

しまだ たかすけ
島田隆輔

中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員



受講料 一般料金：¥4,200 早割価格：¥3,200（納入期限：5月2日）

【日 程】【全2回】 1回／月 第2日曜日
(5/8、7/10)

【時 間】10：30～12：00

■受講に必要なもの

講義内で適宜資料を配布（購入不要）

宮沢賢治の文学的出発は、盛岡中学校時代にはじまる短歌制作だった。その歌日記は盛岡高等農林学校時代も継続して、卒業後も大正十年4月までつづいたが、12月に農学校の教師になると途絶してしまう。

当時の歌は八百首あまり、自筆の歌集が大正十一年頃にまとめられた。読みといてみると、明治四十三年の題材がその最初期かとおもわれる。

教師時代以後の文学的営為は、心象スケッチと童話の制作にうつって、大正十三年にはもう『春と修羅』や『注文の多い料理店』として刊行するほど執心して、教師を辞したのちも最晩年まで熱心にとりくまれてゆくことになる。

短歌の制作はまるでわすれ去られたごとくである。ところが、昭和四、五年頃からかつての歌集に、短歌の推敲ではなく、文語詩に改作しようとする書きこみが、すくなくみえるようになる。

ここではその改作の実態について、中学校時代の歌群のなかにみえる、いくつかとりあげて、その中には島根・松江にかかわるものがあるので、解説をこころみてみたい。

【参考書】

講義中に紹介したい。

20 伝統芸道香道とは ～聞香体験組香を通して～

【全6回】／開催方法：現地

おおたにかよこ
大谷香代子

(公財)お香の会理事
出雲文化伝承館特別顧問
香道御家流和草会主宰



受講料 一般料金：¥10,600 早割価格：¥9,600 (納入期限：5月5日)

【日程】【全6回】 1回／月 第2木曜日
(5/12、6/9、7/14、10/13、11/10、12/8)

【時間】10:30～12:00

■受講に必要なもの

材料代 (香木炭団和紙など) 1000円 (各回毎)

香道講座は、今年度で3回目となります。

本年は、日本古典文学や、或いは日本文化の美術・工芸・様々な芸能に深い影響を及ぼしたとされる「源氏物語」を香道の中の組香として学んでいきます。

源氏物語は超長編物語ゆえに、昔は全巻読破する人は少なく、「須磨帰里」という言葉があるくらいに、12巻目「須磨」あるいは次の巻「明石」まで読んで終い、と言っていました。この頃は現代語訳本や漫画本などがたくさん出版されて、とても身近になっています。

本年度はまず、54帖中の須磨12帖までを中心に学んでまいります。

そして勿論「六国五味」の体得、香りを身近に親しむことは、言うまでもないことであります。

今回の講座で、香りを通して源氏物語のあらすじと人間関係を学んでみましょう。

第1回 香の種類と聞き方法

体験組香は源氏物語「桐壺」「帚木」

第2回 記録紙の書き方・重硯の使い方

体験組香は源氏物語「空蟬」「夕顔」

第3回 香道具の名称など

組香は源氏物語「若紫」「末摘花」

第4回 香道の歴史など

組香は源氏物語「紅葉賀」「花宴」

第5回 香道の様々

組香は源氏物語「葵」「賢木」

第6回 香席について

組香は源氏物語「花散里」「須磨」



感染対策は、充分配慮徹底を致しております。

具体には、マスク着用。入室前のアルコール消毒。組香体験前の再度消毒。香炉廻す毎に各自消毒。

体調不良の参加不可。

21 風土と民族音楽～「さわり」の機巧と音色

【全6回】／開催方法：現地

せこやすお
瀬古康雄

シタール奏者
しまねガムラン主宰
島根県立大学短期大学部
非常勤講師



受講料 一般料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：5月9日）

【日程】【全6回】 1回／月 第2土曜日
(5/14、6/11、7/9、10/8、11/12、12/10)

【時間】13：30～15：00

■受講に必要なもの
レジュメ配布

アジア各国の伝統的な民族音楽や舞踊はそれぞれの国の自然や文化に深く根ざしているように感じられます。それぞれの国の音楽は、その国の人々に世代を超えて愛され、いわば、「自己の存在了解の仕方」とでも言うべき「風土性」を持っています。この講座は、民族音楽は初めてという人のための入門講座で、インド音楽を中心にして、現地で収録したビデオや熊野大社で行われた庭火祭などの日本公演のビデオを鑑賞します。

今年度は「さわり」の機巧と音色がテーマです。三味線や琵琶の音色は「さわり」と呼ばれる工夫によって高次倍音を含んだ独特の響きが生まれるところに味わいがあります。この講座では、インドのシタールの「ジョワリ（さわり）」から始めて、パーンスリーや尺八、八雲琴などの民族楽器の音色を「さわり」やドローン、復弦の効果などを体感しながら味わい、あわせて、高次倍音を含む音色から「ナーダ・ブラフマー（宇宙は音）」や「一音成仏」など、宇宙的な響きの根元にも触れてみたいと思います。

参考書は特に定めませんが、参考文献を適宜提示するとともに、授業で使用したCDやDVDを閲覧可能にします。

22 初歩からはじめる仏像彫刻

【全8回】／開催方法：現地

いしがよしあき
石賀善章

倉吉市文化財協会理事
鳥取県文化財保護指導員
日本木彫協会賛助会員



受講料 一般料金：¥13,800 早割価格：¥12,800（納入期限：5月16日）

【日程】【全8回】 1回／月 第3土曜日
(5/21、6/18、7/16、10/15、11/19、12/17、1/21、2/18)

【時間】10：30～12：00

■受講に必要なもの
彫刻刀セット品など3000円～ 材料代300円～

日本における仏像彫刻技法は平安時代の仏師、定朝によって確立されたと言われ、以来、その伝統は時々の時代に翻弄されつつも現在に伝わっています。

講座では仏像の魅力と歴史を紹介しながら、テキストに従い刃物の使い方の基礎である地紋彫から救世観音像及び聖観音像まで学んでいただきます。必要用具としては、彫刻刀（セット品に買い足しても可）、筆記用具。用材の紅松材は課題にあわせ別途販売いたします。（300円～1000円程度）

その他、経験者の方には別途課題図面／用材など用意いたします。基礎から学び安全に、長い歴史に育まれた仏像彫刻の優美さを体験しつつ、世界に二つとない、ご自身の祈りのかたちを具現化して頂ければと思います。



【参考書】

- ①『仏像彫刻のすすめ』 著者：松久朋琳 出版社：日貿出版社 出版年：2016
- ②『続仏像彫刻のすすめ』 著者：松久朋琳、松久宗琳 出版社：日貿出版社 出版年：1975

23 『華表美談 宍道湖嫁島』を読む

【全3回】／開催方法：現地

おかざきひでき
岡崎秀紀

島根大学教育学部嘱託
講師
松江バルトン会幹事



受講料 一般料金：¥5,800 早割価格：¥4,800（納入期限：5月23日）

【日 程】【全3回】 1回／月 第4土曜日
(5/28、6/25、7/23)

【時 間】13:30～15:00

■受講に必要なもの

『華表美談 宍道湖嫁島物語』 編著者：岡崎秀紀 出版年：2022.4

華表とは鳥居のことです。明治39年松江を初めて訪ねた田邊朔郎博士（京都帝大教授、琵琶湖疏水設計・監督者）は、教え子の案内で嫁島に上陸、島の竹生島神社の木造鳥居が老朽化しているのを見て、石造鳥居の寄進を即決します。翌40年3月に完成し、5月には東宮（後の大正天皇）もご覧になりました。地元の乃木灘戸主会は、田邊の献納を美談として後世に残すべく、宍道湖嫁島の歴史、文学、景観、治水なども取り入れ、『華表美談 宍道湖嫁島』という本を、建立から20年後の昭和2年に刊行したのです。この本は、手書きのガリ版刷りであったので、所蔵されている原本は、県内外で3冊しか確認できていない稀覯本となっています。

松江市民にとって、貴重なこの文献を、この度活字化し解説を付して、出版しました。多くの人に知ってもらいたいために、本文化講座で取り上げることにしました。参加者は、中海・宍道湖・嫁島の景観美の背景にある、自然・歴史・文学・景観・環境への理解をさらに深めることができると考えます。

第1回 『華表美談 宍道湖嫁島』（昭和2年刊）の内容解説

田辺朔郎博士と献納石造鳥居、田辺博士の業績（琵琶湖疏水）と人間像

第2回 宍道湖嫁島の文学

- ①賢政上人の物語（嫁島雨乞い、嫁島ネーミング）
- ②増田渉による八雲作品の翻訳
- ③剪淞吟社の漢詩人たち…菅茶山、釋天麟、内村鱸香、森槐南など
- ④「碧雲湖棹歌」の鑑賞…永坂石埭作

第3回 『華表美談 宍道湖嫁島』（昭和2年刊）の時代と現代の松江

…当時の問題提起を今の立場で考察・検討します。

- ①衛生思想と松江水道…松江水道の恩人W.K.バルトン
- ②斐伊川治水事業、③嫁島と松江水郷祭、④宍道湖七珍と自然環境



田辺朔郎博士



24 『能海寛遺稿』を読む

【全6回】／開催方法：現地

おかざきひでき
岡崎秀紀

能海寛研究会会長
学芸員



受講料

一般料金：¥10,600 早割価格：¥9,600（納入期限：10月17日）

【日 程】【全6回】 1回／月 第4土曜日
(10/22、11/26、12/24、2023/1/28、2/25、3/25)

【時 間】13：30～15：00

■受講に必要なもの
資料配布

2022年度は、能海の中国大陸での旅、活動の記録を探ります。明治31年に日本を出発し、32年第1次ルート（上海・三峡・成都・打箭爐・巴塘）、33年第2次ルート（西安・西寧・丹噶爾・哈拉庫図尔）、34年第3次ルート（大理・昆明・麗江・阿墩子?）と、2年半の間に11省府、合計1万2千kmの距離を歩き、記録を取りながら、チベット入りに挑戦しました。その際、中国各地から手紙を発信し、それが能海の死後、寺本婉雅（大谷大学教授、第1次ルート同行者）の手によって、『能海寛遺稿』（大正6年）として刊行されました。講座では、『遺稿』の原文、および講師による実地踏査の報告記（第1次・2次ルート）を読んで、能海の旅に迫り、中国・チベットの関係史や時代背景などを考察したいと考えます。

第1回 『能海寛遺稿』について

『遺稿』より解説。能海の第1次ルートの概要解説

第2回 実地踏査の報告①

「能海寛の入蔵ルート探訪記①から⑦」（『中国新聞』1997年9月9日付から）

第3回 能海の第2次ルート『遺稿』より第2次ルートの概要解説

「能海寛 第2次ルート探訪記①から⑧」（『中国新聞』2000年10月11日付から）

第4回 実地踏査の報告②

「島根と寧夏の原点 —能海寛の寧夏地区シルクロードの記録—」、『石峰』第1号（1995.7）

『島根の高校生 黄土地帯を越えて六盤山へ』、国際交流登山報告書（2001）
「青海に入った初めての日本人、能海寛の第2次ルートの研究」、『石峰』第22号（2017.3）

第5回 能海の第3次ルート『遺稿』より第3次ルートの概要解説

「能海の最期を語った、フランス人麝香商人G.ペロンヌを追って」『石峰』第19号（2014.3）

第6回 調査研究の最前線 —20世紀初頭の雲南省でのフランス人宣教師の記録—

「能海寛のチベット探検とフランス人宣教師の記録」、『石峰』第26号（2021.3）



能海寛肖像



『能海寛遺稿』表紙

25 中国地方の神楽と仏教～中世神話の世界～

【全2回】／開催方法：現地

なかの あい か
中野秋鹿

中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員



受講料 一般料金：¥4,200 早割価格：¥3,200（納入期限：8月22日）

【日程・時間】【全2回】 8月28日(日) 13:30～15:00・15:20～16:50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジユメ配布

天竺^{てんじく}にある霊鷲山^{りょうじゆせん}の一角が欠け落ち、遙か海を漂い出雲国まで流れ着いて、島根半島が誕生した。ゆえに島根半島は古来、「浮浪山^{ふろうざん}」と呼ばれていた。この浮浪山を取り戻すため、海を越えて出雲国へと襲来する鬼の王。自ら弓を取り鬼の王を迎え討つのは、島根半島の西端に鎮座^{ひのみさき}する日御碕神社の女神・十羅刹女^{じゅうらせつによ}であった。

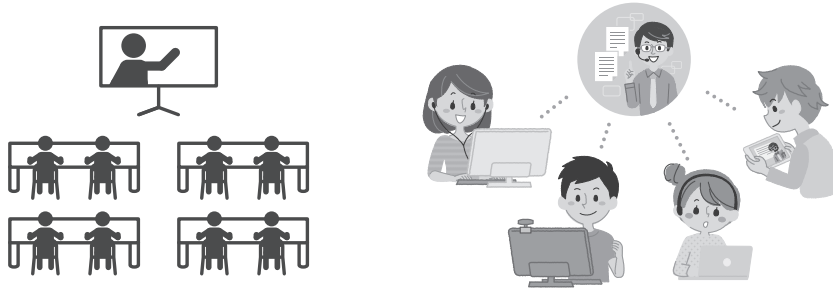
出雲神楽でおなじみの演目「日御碕」の古い台本には、上記のような神仏習合的な世界観が描かれています。中世・近世において各地の宗教勢力は、日本古来の神話や伝承と仏教的世界観を融合させて、日本からインドや中国まで広がる、壮大な神話を創造していきました。それは中国地方の神楽にも大きな影響を与え、現存する近世期の神楽関係資料には、仏教的な世界観が色濃く反映されています。そして時代とともに形を変えながら、現在の神楽まで受け継がれています。

神、仏、鬼や死霊などが織りなす中世神話に彩られた神楽の世界を、一緒に読み解いてみませんか。

オンライン（ZOOM）講座について

●オンライン講座を受講するには？（①または②よりお選び下さい）

- ①中村元記念館にお越しいただき、プロジェクターに投影した先生と記念館会場を結び、双方向でのコミュニケーションをとりながら受講していただきます。
- ②〈インターネット〉のつながる〈パソコン・スマートフォン・タブレットPC〉などがあれば、どなたでもご自宅からお気軽に受講できます。
→メールアドレス（gmail、yahooなどのフリーメールでも大丈夫です）が必要です。



- ・ZOOM〈ズーム〉というソフト（アプリケーション）を使ったオンライン講座です。
- ・オンライン「初心者の方」には、講義開始前に事務局から細かくサポートいたします。
- ・「ZOOMはじめてマニュアル」もご用意しております。
- ・本番の授業が始まる前に事務局スタッフと「動作確認」もいたします。


- ・ **オンライン講座お申込み** → **メールアドレスにマニュアル・招待状（URL、ID・PW）のご送付**
→ **URLクリックまたは、ID・PW入力してアクセス** → **画面を通して授業を受講できます**


●オンライン講座の探し方

8、9ページ講義一覧「オンライン講義」の欄、各講義案内の講義名の横に  マークが表示されている講座です。

4	ラフカディオ・ハーンの松江時代とその作品	横山 純子	6	1回/月 第3日曜日	10:30~12:00	5月15日	13
5	中村元「真理のことは」講読	清水谷善暁	6	1回/月 第3木曜日	15:20~16:50	5月19日	13
6	「親と子の仏典童話」講読 ～人格の陶冶へ向けた 仏典物語の可能性～	岡 宏	5	1回/月 第4水曜日 ※12月のみ第3週	10:30~12:00	10月26日	15
7	積尊から空海まで	吉田 宏哲	6	3回/月 第2・3・4月曜日	13:30~15:00 15:20~16:50	5月9日	16

オンライン
講座が可能
です

6 「親と子の仏典童話」講読 ～人格の陶冶へ向けた仏典物語の可能性～ 【全5回】/開催方法: 

<p>おか ひろし 岡 宏 近畿大学 講師 中村元記念館東洋思想 文化研究所研究員</p> 	<p>受講料 会員料金: ¥11,000 早割価格: ¥10,000 (納入期限: 10月19日)</p> <p>[日 程] 【全5回】 1回/月 第4水曜日 ※12月のみ第3週 (10/26、11/23、12/21、2023/1/25、2/22)</p> <p>[時 間] 10:30~12:00</p> <p>■受講に必要なもの [テキスト] レジューメ配布</p>
--	---

●オンライン講座（自宅受講）のお申込みの仕方

- ※「受講申込書」のオンライン自宅受講の欄に○を記入して下さい。
- ※お申し込みの方には「具体的な手順や注意事項」をお送りいたします。
- ※オンライン講座に興味はあるけれども、はじめてなので心配であるという方、ご遠慮なく事務局までご相談ください。

（事務局連絡先：メール info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp）
TEL 0852-76-9593, FAX 0852-76-9693

2022年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座 年間スケジュール

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	金	1	日	1	水	1	金 齊藤②	1	月 休館日	1	木
2	土	2	月 休館日	2	木	2	土	2	火	2	金
3	日	3	火	3	金 齊藤②	3	日	3	水	3	土
4	月 休館日	4	水	4	土	4	月 休館日	4	木 下田②③	4	日
5	火	5	木	5	日	5	火	5	金	5	月 休館日
6	水	6	金 齊藤②	6	月 休館日	6	水	6	土 蓑輪②③	6	火
7	木	7	土	7	火	7	木	7	日 蓑輪①②	7	水
8	金	8	日 島田①	8	水	8	金 的野①	8	月 休館日	8	木
9	土	9	月 吉田②③	9	木 大谷①	9	土 藤島① 瀬古②	9	火	9	金 的野① 渡辺②③
10	日	10	火	10	金 的野①	10	日 島田①	10	水	10	土 渡辺①②
11	月 休館日	11	水	11	土 藤島① 瀬古②	11	月 休館日	11	木	11	日
12	火	12	木 大谷①	12	日	12	火	12	金	12	月 休館日
13	水	13	金 的野①	13	月 休館日	13	水	13	土 休館日	13	火
14	木	14	土 藤島① 瀬古②	14	火	14	木 大谷①	14	日 休館日	14	水
15	金	15	日 横山①	15	水 清水谷善圭①	15	金 齊藤②	15	月 休館日	15	木
16	土 オープニング イベント	16	月 吉田②③	16	木 清水谷善暁③	16	土 石賀①	16	火	16	金
17	日	17	火	17	金 齊藤②	17	日 横山①	17	水	17	土
18	月 休館日	18	水 清水谷善圭①	18	土 石賀①	18	月 休館日	18	木	18	日
19	火	19	木 清水谷善暁③	19	日 横山①	19	火	19	金 加藤②③	19	月 休館日
20	水 清水谷善圭①	20	金 齊藤②	20	月 休館日	20	水 清水谷善圭①	20	土 加藤②③	20	火
21	木	21	土 石賀①	21	火	21	木 清水谷善暁③	21	日	21	水
22	金	22	日	22	水	22	金	22	月 休館日	22	木
23	土	23	月 吉田②③	23	木	23	土 藤島① 岡崎②	23	火	23	金
24	日	24	火	24	金	24	日	24	水	24	土
25	月 休館日	25	水	25	土 藤島① 岡崎②	25	月 休館日	25	木	25	日
26	火	26	木	26	日	26	火	26	金	26	月 休館日
27	水	27	金	27	月 休館日	27	水	27	土	27	火
28	木	28	土 藤島① 岡崎②	28	火	28	木	28	日 中野②③	28	水
29	金	29	日 山口②③	29	水	29	金	29	月 休館日	29	木
30	土	30	月 休館日	30	木	30	土	30	火	30	金
		31	火			31	日	31	水		

講義時間：①10:30～12:00 ②13:30～15:00 ③15:20～16:50

10月		11月		12月		1月		2月		3月					
1	土	1	火	1	木	1	日	年末年始休館	1	水	1	水			
2	日	山口②③	2	水	2	金	齊藤②	2	月	年末年始休館	2	木			
3	月	休館日	3	木	3	土		3	火	年末年始休館	3	金			
4	火		4	金	齊藤②	4	日		4	水	年末年始休館	4	土		
5	水		5	土		5	月	休館日	5	木		5	日		
6	木		6	日	田中②③	6	火		6	金		6	月	休館日	
7	金	齊藤②	7	月	休館日	7	水		7	土		7	火		
8	土	藤島① 瀬古②	8	火		8	木	大谷①	8	日		8	水		
9	日		9	水		9	金	的野①	9	月	休館日	9	木		
10	月	休館日	10	木	大谷①	10	土	藤島① 瀬古②	10	火		10	金		
11	火		11	金	的野①	11	日		11	水		11	土	藤島①	
12	水		12	土	藤島① 瀬古②	12	月	休館日	12	木		12	日		
13	木	大谷①	13	日		13	火		13	金		13	月	休館日	
14	金		14	月	休館日	14	水	清水谷善圭① ※1	14	土		14	火		
15	土	石賀①	15	火	三友②③	15	木	清水谷善暁③	15	日		15	水		
16	日	横山①	16	水	清水谷善圭①	16	金	齊藤②	16	月	休館日	16	木		
17	月	休館日	17	木	清水谷善暁③	17	土	石賀①	17	火		17	金		
18	火		18	金	齊藤②	18	日	横山①	18	水		18	土	石賀①	
19	水	清水谷善圭①	19	土	石賀①	19	月	休館日	19	木		19	日		
20	木	清水谷善暁③	20	日	横山①	20	火		20	金		20	月	休館日	
21	金	齊藤②	21	月	休館日	21	水	岡①※2	21	土	石賀①	21	火		
22	土	藤島① 岡崎②	22	火		22	木		22	日		22	水	岡①	
23	日		23	水	岡①	23	金		23	月	休館日	23	木		
24	月	竹村②③	24	木		24	土	藤島① 岡崎②	24	火		24	金		
25	火	竹村①②	25	金		25	日		25	水	岡①	25	土	藤島① 岡崎②	
26	水	岡①	26	土	藤島① 岡崎②	26	月	休館日	26	木		26	日		
27	木		27	日		27	火		27	金		27	月	休館日	
28	金		28	月	休館日	28	水	年末年始休館	28	土	藤島① 岡崎②	28	火		
29	土	10周年記念式典 文化賞授賞式	29	火		29	木	年末年始休館	29	日				29	水
30	日	釈②③	30	水		30	金	年末年始休館	30	月	休館日			30	木
31	月	釈①②				31	土	年末年始休館	31	火				31	金

※1 この月のみ第2週

※2 この月のみ第3週

各講座へのお申込みのご案内

●受講申込・受講料のお支払方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください（お電話・FAXでの申し込みはできません）。
お申し込みは入金を確認できた時点で完了いたします。

1. 窓口でのお申込み・お支払い

受講申込書（37ページ）にご記入の上、年会費（文化講座のみ受講の方は不要）、受講料と一緒に提出してください。

2. 振込でのお申込み・お支払い

(1) 年会費、受講料を、下記の口座にお振込みください。

注1. 振込手数料はご負担ください

注2. 振込のご依頼人名と申込書の氏名は同じにしてください。

注3. 振込の場合、領収書の発行は致しません。振込の際に発行される控えを大切に保管してください。

(2) 受講申込書（37ページ）にご記入の上、(1)の振込控えのコピー（ご入金を確認できる書類）と一緒に、郵送でご送付ください。

〈郵送先〉〒690-1404 松江市八束町波入2060番地 中村元記念館宛

【振込先】

■ゆうちょ銀行（この冊子に添付の払込票をご利用ください）

口座番号 01370-8-91228 加入者名 中村元記念館

■山陰合同銀行 松江駅前支店（店番号004）

口座番号 普通3692971

口座名義 中村元記念館

●受講にあたっての留意事項

- ①講義によっては受講料のほかに、別途テキスト・教材などの購入が必要な講義がございます。各講義案内のページをご確認ください。
- ②一旦納入された受講料、年会費、入会金は原則としてお返しいたしません。
- ③原則として、申込されたご本人以外の受講はできません。
- ④講師や他の受講生の迷惑となる行為があった場合、受講をお断りする場合があります。
- ⑤講義時間内での録音・録画・写真撮影は禁止です。
- ⑥布教活動・政治活動・物品販売など講義に関係のない行為はお控えください。

●体験受講制度について

東方学院松江校講義、文化講座の一部については、原則第1回目の講義に限り体験受講ができます。体験受講を希望される方は、事前申し込みが必要ですのでお問い合わせください。

体験受講料：¥2,000—

（体験後、正式に申し込みをされる場合、受講料金は体験受講料を差し引いた金額となります。）

●その他

- ・頂いた個人情報は当法人の業務のためのみに使用し、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。
- ・各講座の開講の有無、回数は予定です。やむを得ない事情により変更・中止となる場合があります。

●新型コロナウイルス感染症拡大防止に対するご案内

- ・万が一、感染者の発生が疑われた場合などに要請を受け必要に応じて保健所等の公的機関へ情報提供を行う場合がございますので予めご了承ください。
- ・発熱、咳などの症状、その他体調不良の症状のある方、過去2週間以内に感染が拡大している国や地域への訪問歴がある方はご来館をお控えください。
- ・マスクの着用、手洗い、手指の消毒などの感染症対策にご協力ください。
- ・37.5℃以上の発熱がある方はご入館をご遠慮いただきます。

2022年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書

◆ 太枠内をご記入ください。

ふりがな		申込日	年	月	日
氏名		生年月日			
住所		〒	—	年	月 日
電話番号		(緊急の際に連絡がつく番号をお書きください)			
E-mail					

◆ NO.1～17を受講される場合は、各受講料の他に3,000円の年会費が必要となります。
(NO.18～25のみを受講される場合は、年会費は必要ありません。)

※オンライン可の講義を
自宅受講される方は○
をつけてください。

◆ 受講を希望する講座Noと受講料（早割適用の場合は早割の受講料）に○をつけてください。

種別	番号	講義名	講師名	受講料	受講料 (早割)	早割締切日	オンライン 自宅受講	事務局記入欄		
								受領日	担当	データ
東方学院松江校	1	『観無量寿経』を読む	齊藤 舜健	¥20,200	¥19,200	4月29日				
	2	入門 日本仏像彫刻史	的野 克之	¥10,600	¥9,600	5月6日				
	3	歴史に学ぶということ！—その深さと厳しさ—(その2)	藤島 建樹	¥25,000	¥24,000	5月9日				
	4	ラフカディオ・ハーンの松江時代とその作品	横山 純子	¥10,600	¥9,600	5月9日				
	5	中村元『真理のこぼれ』講読	清水谷善暁	¥10,600	¥9,600	5月12日				
	6	『親と子の仏典童話』講読～人格の陶冶へ向けた仏典物語の可能性～	岡 宏	¥11,000	¥10,000	10月19日				
	7	釈尊から空海まで	吉田 宏哲	¥13,000	¥12,000	5月2日				
	8	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(5)	山口 弘江	¥5,000	¥4,000	5月23日				
	9	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ(6)	山口 弘江	¥5,000	¥4,000	9月26日				
	10	如来蔵・仏性思想について	下田 正弘	¥5,000	¥4,000	7月28日				
	11	瞑想でたどる仏教—日本の古代編—	蓑輪 顕量	¥9,000	¥8,000	8月1日				
	12	厳島神社と五重塔 ～神仏習合の歴史と文化	加藤みち子	¥9,000	¥8,000	8月12日				
	13	初期仏教入門 —ブッダのさとりとその教え—	渡辺 章悟	¥9,000	¥8,000	9月2日				
	14	唯識思想入門	竹村 牧男	¥9,000	¥8,000	10月17日				
	15	仏教聖典へのいざない	釈 悟震	¥9,000	¥8,000	10月24日				
	16	『歎異抄』の現代社会へのメッセージ	田中ケネス	¥5,000	¥4,000	10月31日				
	17	究極的分析思考の世界(アビダルマ) 宇宙とは？ 生類とは？ 真理とは？	三友 健容	¥5,000	¥4,000	11月8日				
受講料合計 (ア)						円				
年会費 (イ)						¥3,000				
東方学院松江校 お支払い合計 (ア) + (イ)						円	—(A)			

種別	番号	講義名	講師名	受講料	受講料 (早割)	早割締切日	事務局記入欄			
							受領日	担当	データ	
文化講座	18	観想行入門「心を知ろう」	清水谷善圭	¥12,200	¥11,200	4月13日				
	19	宮沢賢治短歌とそのゆくえ(中学時代篇)	島田 隆輔	¥4,200	¥3,200	5月2日				
	20	伝統芸道香道とは ～聞香体験組香を通して～	大谷香代子	¥10,600	¥9,600	5月5日				
	21	風土と民族音楽～「さわり」の機巧と音色	瀬古 康雄	¥10,600	¥9,600	5月9日				
	22	初歩からはじめる仏像彫刻	石賀 善章	¥13,800	¥12,800	5月16日				
	23	『華表美談 宍道湖嫁島』を読む	岡崎 秀紀	¥5,800	¥4,800	5月23日				
	24	『能海寛遺稿』を読む	岡崎 秀紀	¥10,600	¥9,600	10月17日				
	25	中国地方の神楽と仏教～中世神話の世界～	中野 秋鹿	¥4,200	¥3,200	8月22日				
中村元記念館文化講座 受講料合計						円	—(B)			

お支払い合計 (A)+(B)	円
----------------	---

《送付先》

〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060 中村元記念館

※窓口へ提出するか、振込控えのコピー（ご入金を確認できる書類）と一緒に郵送してください。

受付	データ	備考

キ
リ
ト
リ
線

●中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集

中村元記念館東洋思想文化研究所の研究員を募集いたします。当研究所は、中村元記念館に所蔵されている中村元博士の約34,000冊の蔵書・資料を活用して、博士が開拓された学問の道をさらに深く探究し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的とします。

〈活動内容〉

- ・隔年発行予定の当館の研究紀要に研究発表をする。
- ・可能であれば、関連する学会で発表をする。
- ・人文科学分野の研究を振興する。

〈応募資格〉

- ・人文科学分野の修士号を有する方、または修士号と同等の資格（研究業績等）を有する方。
- ・中村元記念館東洋思想文化研究所の理念に賛同し、中村元記念館を支え、発展させていく熱意のある方。

〈応募方法〉

以下の書類を中村元記念館まで郵送してください。採用に当たっては所長による面接を行います。

- ・履歴書（功績書またはそれに準じるものを添付する）
- ・研究課題書
- ・推薦書

〈応募締切〉

毎年度 2月末日

〈待遇〉

- ・当館所蔵の図書・資料を管理者の同意のもとご活用いただけます。
- ・研究助成金等は当分の間支給いたしません。
- ・研究員に対して会費等の徴収をすることはありません。

中村元記念館東洋思想文化研究所

所 長	前 田 專 學
副 所 長	積 悟 震
主任研究員	岡 田 真 水
主 事	清 水 谷 善 暁

●中村元記念館ボランティアサポーター募集

中村元記念館では、当館の事業にご協力いただける「ボランティアサポーター」を募集中です。

ご都合のいい時間に、ご自分の持ち味や興味を活かしてボランティアしてみませんか。

詳しくは中村元記念館までお気軽にお問い合わせください。

〈活動内容の例〉

- ・蔵書整理
- ・イベント運営
- ・附属研修施設の環境整備
- ・チラシ等発送業務
- ・語学（翻訳/通訳）



慈しみ

東方学院歌

詞 中村 元
作曲 中村匡宏

慈しみ

一切の生きとし生けるものは、

幸福であれ、安穩であれ、安楽であれ。

一切の生きとし生けるものは、幸せであれ。

何びとも他人を欺いてはならない。

たとどこにあつても

他人を軽んじてはならない。

互いに他人に苦痛を与える

ことを望んではならない。

この慈しみの心づかいを

しっかりとたもて。

いっ さい の い き と し い け る も の は こ う ふ く で あ れ あ ん の ん で あ れ あ ん ら く で あ れ

れ いっ さい の い き と し い け る も の は し あ わ せ で あ れ

なん び と も た に ん を あ ざ む い て は な ら な い た と い ど こ に

あ つ て も た に ん を か ろ ん じ て は な ら な い た が い に た に ん に

く つ う を あ た え る こ と を の ぞ ん で は な ら な い

こ の い づ く し み の こ こ ろ づ か い を し っ か り と た も て

アクセス

飛行機でお越しの方

【米子空港から】車で約15分

【出雲空港から】車で約50分

車でお越しの方

【広島から】車で3時間（中国自動車道三次I.C.経由）

【岡山から】車で2時間15分（岡山自動車道・中国自動車道・米子自動車道）

【松江駅から】車で約25分

【境港駅から】車で約10分

【米子駅から】車で約35分

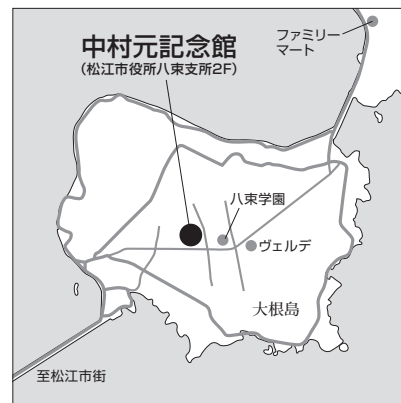
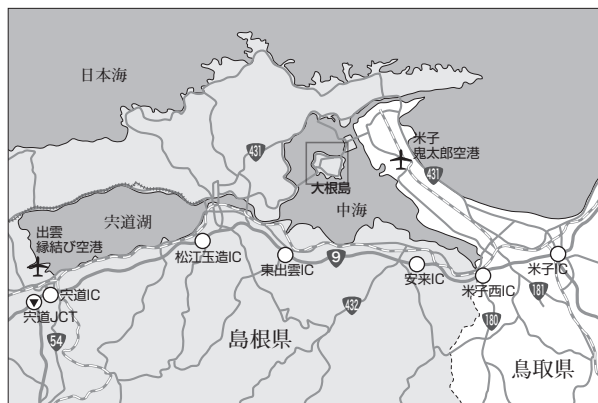
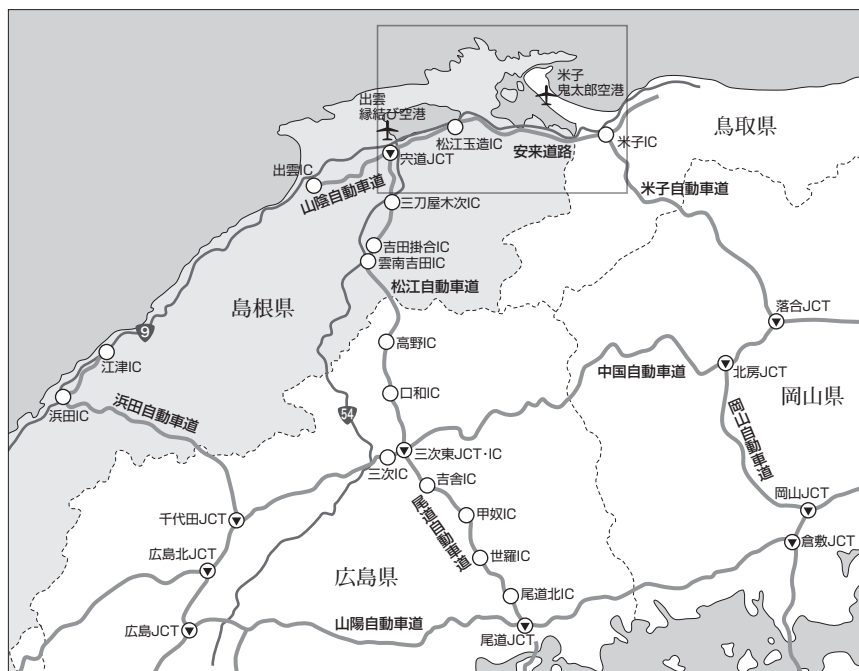
バスでお越しの方

【松江駅から】

・松江市営バス「八束町」行で約50分、「八束支所・中村元記念館前」下車

【境港駅から】

・八束コミュニティバス約30分「八束支所前」下車





2022年3月 発行

発行所 特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所
〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060番地 松江市八束支所2F
TEL 0852-76-9593/FAX 0852-76-9693
info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp
<https://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/>

¥300(税込)